

事業所名

多機能型事業所 かりん

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		小さな成功体験を積重ね個性や強みを活用しながら、自立して生活できることができるようサポートを行います。									
支援方針		①社会性を身に付けるため、ルールや順番、切り替えを学べるような集団活動や集団活動を実施します。 ②小さな「できた！」を積重ね、自信に繋がる支援を提供します。 ③職員間のチームワークを大切に、様々な支援プログラム（運動療育、学習支援等）を提供します。									
営業時間		9	時	0	分から	18	時	30	分まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	健康：来所時に健康チェックを行い、心身の変化に気付けるように細かに観察・対応し健康で安心した生活ができるよう支援します。 生活：基本スキル（挨拶・身だしなみ・衣類の着脱・後片付け等）の習得し自立に向けた支援を行います。									
	運動・感覚	運動：運動能力の向上に向けた活動として粗大運動（マット運動、ラダートレーニング、ヨガ）、微細運動（なぞり絵、はさみ、のり、色鉛筆の使用など）を通して身体の使い方や、指先の細やかな動きの習得を支援する。 感覚：視覚・聴覚・触覚・味覚・嗅覚の5感を刺激するような活動（スライム・スノードームなど）、ビジョントレーニングやなぞり描きなどを行います。									
	認知・行動	認知：視知覚トレーニング（模写とおりにするパズルの作成、ヒモ通し、迷路など）により大小・色・空間の概観の習得にむけて支援します。 また、視写や音読などを取り入れ、読み書きの向上を支援します。 行動：スケジュールを視覚的に分かりやすく掲示し、時間の切り替え時にはチャイムを使用して切り替えやすい環境づくりを行います。 職員やお友達のとの関わる楽しさを体験し、他者の意見に耳を傾け、協力しながら集団活動に参加するための支援を行います。									
	言語 コミュニケーション	言語：TP0にあった言葉遣いや表現ができるよう支援します。 会話の中で、不適切な言葉遣いを見極め、適切な表現でやり取りできるよう支援します コミュニケーション：異年齢児や職員との会話でコミュニケーションの楽しさを感じ、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりする能力向上の支援を行います。 挨拶やカードゲーム等のコミュニケーションツールの活用し円滑なコミュニケーションが行えるよう支援します。									
	人間関係 社会性	人間関係：遊びやプログラムを通じて、他児に目を向け、関わりを深めるための支援を行います。 SSTを通じて、社会生活に必要な適切な行動を見に付けれるように支援します。 社会性：社会性を身に付けるため、ルール、順番、切り替えを学べるような活動を実施します。 施設外活動で社会見学、買い物、ものづくり体験などを通じて社会スキルを見に付けれるよう支援します。									
家族支援		家庭での困りごとに対する助言やサポート 延長サービス 速やかに家族との連携が取れるようにLINE等を用いて連携体制							移行支援		学校や関連機関との連携
地域支援・地域連携		地域の公園や図書館の利用 学校や併用他施設、相談事業所、行政などとの情報共有や連携 自立支援協議会への参加							職員の質の向上		定期的なミーティングを行い、療育内容の振返り支援計画作成・実施等 虐待防止委員会、身体高速適正化委員会、感染対策委員会、災害対策委員会、事故防止に関する委員会など
主な行事等		年2回：避難訓練 長期休暇時：体験イベント（工場見学・体験、買い物、施設外活動（公園、図書館利用など） 季節行事：クリスマス会、初詣、花見、卒業生を送る会 など									